

# 議会だより

19号



「若狭路恐竜展 2014」の様子(美浜町総合体育館)

● 9月定例会	.....	2	● 一般質問	.....	6
● 7月臨時会	.....	3	● 各種委員会	.....	9
● 8月臨時会	.....	4	● その他活動報告	.....	10
● 常任委員会の動き	.....	4	● 議会の動き・編集後記	.....	12

# 9月定例会 (9月2日～18日)

平成25年度決算関係9議案と、平成26年度一般会計補正予算等10議案で、予算決算に関わる15議案を予算決算常任委員会に付託し慎重な審議が行われました。結果として、平成25年度決算関係及び平成26年度補正予算を承認しました。総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会ではそれぞれ条例関係、意見書提出要請があり意見書提出を採択しました。

◎歳入の状況

(単位：万円、%)

款	平成24年度	平成25年度	比較増減	増減率	構成比
1 町 税	26億4,357	25億3,766	△1億 591	△ 4.0	27.5
2 地方譲与税	5,930	5,444	△ 486	△ 8.2	0.6
3 利子割交付金	414	348	△ 66	△ 16.0	0.0
4 配当割交付金	266	570	303	113.8	0.1
5 株式等譲渡所得割交付金	76	899	823	1,081.7	0.1
6 地方消費税交付金	1億 443	1億 354	△ 89	△ 0.9	1.1
7 自動車取得税交付金	1,877	1,654	△ 223	△ 11.9	0.2
8 地方特例交付金	242	246	4	1.7	0.0
9 地方交付税	6億3,025	10億2,698	3億9,673	62.9	11.1
10 交通安全対策交付金	134	130	△ 3	△ 2.5	0.0
11 分担金及び負担金	1億1,287	1億 881	△ 460	△ 3.6	1.2
12 使用料及び手数料	7,478	8,212	734	9.8	0.9
13 国庫支出金	23億5,788	17億2,545	△ 6億3,243	△ 26.8	18.7
14 県支出金	9億3,493	21億9,863	12億6,370	135.2	23.8
15 財産収入	996	1,593	597	60.0	0.2
16 寄附金	449	121	△ 328	△ 73.1	0.0
17 繰越金	3億5,717	2億6,872	△ 8,845	△ 24.8	2.9
18 諸収入	2億3,423	2億7,020	3,597	15.4	2.9
19 町債	2億9,959	6億9,284	3億9,325	131.3	7.5
20 繰入金	5億1,441	9,972	△ 4億1,469	△ 80.6	1.1
歳入合計	83億6,794	92億2,472	8億5,678	10.2	100

◎歳出の状況

(単位：万円、%)

款	平成24年度	平成25年度	比較増減	増減率	構成比
1 議会費	1億1,009	1億 429	△ 580	△ 5.3	1.2
2 総務費	10億4,314	23億1,331	12億7,017	121.8	26.3
3 民生費	15億2,312	18億 613	2億8,301	18.6	20.6
4 衛生費	10億1,668	11億9,963	1億8,256	18.0	13.6
5 労働費	3,460	3,760	300	8.7	0.4
6 農林水産費	7億7,609	6億7,419	△ 1億 190	△ 13.1	7.7
7 商工費	1億6,450	2億1,120	4,669	28.4	2.4
8 土木費	3億1,302	4億 391	9,089	29.0	4.6
9 消防費	2億8,805	2億7,299	△ 1,507	△ 5.2	3.1
10 教育費	23億3,100	11億9,597	△ 11億3,503	△ 48.7	13.6
11 公債費	4億8,975	4億 431	△ 4,544	△ 17.4	4.6
12 災害復旧費	920	1億6,509	1億5,589	1,694.5	1.9
歳出合計	80億9,922	87億8,860	6億8,938	8.5	100

## 平成25年度 決算を認定

### ●歳入

前年度比8億5678万円の増額

平成25年度の歳入決算額は92億2472万円で、前年度(平成24年度)の83億6794万3千円に比べ8億5678万円の増額となりました。この要因は、平成24年度の町税収入が、関西電力(株)の経営不振を受けて大きく落ち込んだことから、その落ち込み分が本年度の普通交付税に反映され、普通交付税約3億9673万円の増額となりました。また、放射線防護対策工事に係る補助金やエネルギー環境教育体験施設整備費、みずみ保育園建設に係る交付金等があったものです。また、台風18号による災害復旧債が増額となったことも要因です。一方、町民税や固定資産税が約1億円の減収となり前年度生涯学習センター建設に係る繰越金があったため、全体で国庫支出金約6億3千万円が減額となりました。

### ●歳出

台風18号で災害復旧費増

平成25年度の歳出決算額は、87億8860万4千円で、前年度(平成24年度)の80億9922万2千円に比べ6億8938万2千円の増額となりました。総務費、民生費、衛生費、教育費で65億円を超えて全体の74.1%を占めています。この要因は、総務費では、エネルギー環境教育体験施設整備に係るもんじゅ交付金の基金積み立てや前年度からの繰越金である放射線防護対策工事費ほか、庁舎設備改修工事、業務用パソコン等の整備で増額となりました。民生費では、主にみずみ保育園の整備、衛生費では主に小浜病院組合負担金と水道会計への繰り出し金です。また、台風18号による災害復旧事業が大きなものとなりました。

### 平成25年度 会計別決算状況

(単位：万円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入差引額
一般会計	92億2,472	87億8,860	4億3,612
特別会計			
診療所事業特別会計	1億5,916	1億5,806	110
国民健康保険事業特別会計	13億8,527	13億4,086	4,441
後期高齢者医療事業特別会計	1億1,144	1億1,130	14
介護保険事業特別会計(介護保険事業勘定)	10億9,827	10億8,076	1,751
介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)	592	592	0
簡易水道事業特別会計	1億7,202	1億6,686	517
集落排水事業特別会計	1億7,216	1億7,201	15
公共下水道事業特別会計	5億1,060	5億1,039	21
小計	36億1,484	35億4,616	6,868
合計	128億3,957	123億3,476	5億 480

平成26年度 一般会計9月補正予算概要

予算規模	補正予算額	1億8,500万円	補正後予算総額	68億6,622千円
------	-------	-----------	---------	------------

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位: 万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	マイナンバー制度システム整備事業	1,308	住民基本台帳システム、地方税システム改修、統合宛名システム整備
	美浜駅駐車場照明取替工事	215	6灯
民生費	基幹相談支援センター業務委託	136	障害者の日常生活、社会生活を総合的に支援するため、法で設置が望ましいとされた基幹相談支援センター業務の委託
衛生費	感染予防事業	223	法改正による成人肺炎球菌ワクチン及び水痘ワクチン予防接種の定期化に伴う補正
	一般廃棄物処理広域化基本計画等策定業務委託	169	一般廃棄物処理について、広域化(嶺南5市町)に向けた基本計画等策定業務の委託
農林水産費	間伐材利用搬出促進事業	288	間伐材の搬出に係る経費補助
	県単小規模土地改良事業	1,360	日向地区、太田地区、宮代地区農業用排水路改修工事
商工費	元気な美浜の地域振興支援事業(プレミアム商品券発行)	260	地域内消費の動機付けと消費拡大を図るため、わかさ東商工会が発行するプレミアム商品券に対する補助
	若狭美浜観光PR事業	180	「サクラサク」ロケ地魅力アップ事業(安全柵の延長、ロケ地標識・看板等設置)
土木費	道路維持事業	3,000	町道舗装、補修工事等
	町道日向線道路改良事業	735	測量、調査、設計業務等
	原子力災害対策圧道路関連事業	892	水道施設(ポンプ場)移設工事(菅浜地係)に係る簡水事業特別会計への繰出金
	除雪経費	4,600	除雪作業委託料、除雪機械借上料 他
	住宅団地事業特別会計繰出金	960	上下水道設計業務に充当(水道管、污水管実施設計、耐震計算)
教育費	小学校再編推進事業	722	閉校記念事業補助、体操服購入費補助
	総合運動公園管理事業	287	体育館、野球場、駐車場等修繕、運動場植栽工事 他

●平成26年度一般会計補正予算(総務費)

◆マイナンバー制度システム導入に向けて  
国、県、市町等が持っている個人情報を一元化する目的で実施。利用分野は年金やハローワークの事務、社会保険制度分野、税金関係等で活用。今までの住基カードとは別のもの。平成28年1月から順次希望者に交付。美浜駅駐車場6灯をLED照明に改善。駅前側道6灯をLED照明に改善。

◆基幹相談支援センター業務委託

障がい者の日常生活、社会生活を総合的に支援するため、法で設置が望ましいとされた基幹相談支援センター(若狭ネット)へ業務委託。

◆各種ワクチン接種補助

成人肺炎球菌ワクチン及び水痘ワクチン予防接種の定期化に伴う補正。一般廃棄物処理の広域化を進める。一般廃棄物処理について、広域化(嶺南5市町)に向けた基本計画を策定するもの。

◆農林水産業費

◆間伐材の利用促進を進める  
今までは切り捨て間伐が主だったが、国の基準が変わり搬出しなければ補助対象とならなくなったので搬出し漁礁、砂防ダムの型枠、チップ等に利用。

◆プレミアム商品券の発行

町内商店における消費拡大を促し町の商工振興を図るもので、1枚500円の22枚綴りを1セットとして、1セット1万円販売。

◆映画「サクラサク」ロケ地をわかりやすく紹介  
映画の場面をわかりやすくするため、ロケ地に写真付きパネルを設置。周辺整備を行い観光誘致の推進を図る。

◆土木費

◆町道日向線道路改良に着手  
日向東地区レインボーラインまでの町道375mを幅員2.7mのところ6.5mに拡張するもので、測量調査実施設計と用地測量を今回行う。

◆教育費

◆小学校再編に伴う事業経費  
平成27年度から町内小学校の再編に向けて、閉校記念行事補助・体操服購入補助を行うことにより、円滑な小学校再編を推進するもの。

◆平成26年度特別会計補正予算5件について

平成26年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算で、4772万円の追加となりました。内容は、丹生竹波膜ろ過施設の機械設備工事費、制圧道路整備に係る水道施設工事費です。その他特別会計では大きな補正や特筆したものはなく、いずれも原案通り承認されました。

◆美浜町教育委員会委員の任命の同意について

美浜町教育委員の岸上厚子氏の任期が平成26年9月30日を持って満了となるため、議会の同意を求めると、引き続き岸上厚子氏を教育委員会委員とすることに同意しました。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

総務常任委員長報告のとおり発議することに同意しました。

◆議会開催中に全員協議会が行われ5件について協議されました。  
(1)美浜町新型インフルエンザ等対策行動計画について  
(2)第5次美浜町総合振興計画について  
(3)企業誘致の現状について  
(4)奈良県広陵町との友好協定締結について  
(5)平成25年度教育委員会の自己評価について

平成26年 第4回臨時議会(7月14日)

◆議案第32号 丹生・竹波簡易水道施設改良事業落合川浄水場機械設備工事請負契約について  
契約の方法 制限付き一般競争入札  
契約金額 2億1168万円  
契約の相手方 新富産業株式会社・株式会社金吾設備企業体  
工事内容 丹生・竹波簡易水道施設の膜ろ過を行うための機械設備工事

◆議案第33号 丹生・竹波簡易水道施設改良事業落合川浄水場電気設備工事請負契約について  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 9180万円  
契約の相手方 荏原商事株式会社 福井支店  
工事内容 丹生・竹波簡易水道施設改良に伴う電気設備工事

◆議案第34号 美浜東小学校外壁・屋上防水改修工事請負契約について  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 7786万8千円  
契約の相手方 有限会社大同工務店  
工事内容 美浜東小学校外壁及び屋上防水改修工事

3議案とも承認しました。

◆議案第4号 美浜町農業委員会委員の推薦について

美浜町農業委員会委員の任期満了に伴い新たに議会推薦として、  
長谷川美恵子氏、奥井喜代栄氏、秋山省治氏、松田うめ子氏が推薦され承認されました。

◎議案第35号 美浜町東部診療所放射線防護対策工事請について

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 1億8090万円  
契約の相手方 株式会社谷口工務店  
工事内容

原子力発電所において緊急事態が発生した場合、住民の避難等だけがや病等になった場合に備えて、東部診療所に放射線防護対策を実施します。工事期間中は、東側に仮設診療所を建て行います。  
同日、全員協議会が開催され、次の3件について協議しました。

(1)福祉支援センター(仮称)の進捗状況について

気がかりな子どもへの早期支援体制、療育体制の確立、生活支援サービスの拠点づくりの課題に対応し、福祉サービスのさらなる充実させるものです。

(2)県立ボートハウス・ボートコースの整備計画について

第73回国民体育大会(平成30年度)が福井県で開催となります。当町はボート会場となるため、その整備で施設は県、土地は美浜町が提供します。

(3)嶺南地域広域行政の推進及び一般廃棄物処理の広域化について

嶺南地域行政の推進を進める中で、ごみ処理施設は稼働後10年以上経過したものがかりで、既に更新時期が到来している施設もあります。延命対策にも限界があり、多額の改修費用があることから、一般廃棄物の広域化推進を図るものです。

# 常任委員会の動き

各常任委員会に付託された案件と、おもな審議内容をお知らせいたします。

## 予算決算 常任委員会

付託案件15件

◎議案第36号 平成25年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について

**問** 歳入の状況で、町税は減り、町債は増えている。収納率も昨年より若干落ちてきている部分もある。これは経済不況や発電所の停止に関係があるのか。

**答** 減収の要因は個人町民税で、全体人数が減少しており、一人当たりの所得も減少している。法人町民税の減は発電所関係の企業法人税が下がっており、固定資産税についても関西電力関係の大規模償却資産の減によるものである。

**問** 観光PR映画製作資金について、映画が全部終了した。この映画の総括と売上及び入場者数は。

**答** 映画「サクラサク」は、10月10日にDVD発売とレンタルも同時に実施する。精算されるのは4、5年かかると聞いている。また入場者は先月末全国では12万6163人。敦賀アレックスシネマ6568人。県内で一番多い入場者は鯖江アレックスシネマの1万2336人である。

**問** 健康事業について、検診率と他市町との比較は。

**答** 受診率については、肺がん39・4%、胃がん21・8%、大腸がん43・5%、

乳がん24・5%、子宮がん24・4%となっている。県内受診率は平成24年度資料では、美浜町の胃がん3位、肺がん3位、大腸がん2位、子宮がん2位、乳がん1位となっている。がん受診率平均3位の状況となっているが、国が求める目標は50%なので目標値は厳しい。

**問** 小学校、中学校の全国テストについて、福井県は上位にある。19校で成績を公表すると報道された。美浜町は一部公表すると言われたが、県内での美浜町のランクは。

**答** 学校が特定できる公表はしてはいけなと言われている。1校しかない場合は公表しない。公表の仕方についても○×や数値を上げるといったような違いがある。美浜だけ上げると先走りかと思う。校長会、教育委員会を開いても一度検討したい。点数については美浜町の小学校は国語AB、数学ABあるが4教科で平均307・3点(県平均は283・6点、全国平均264・7点)で、中学校は町平均271・6点(県平均280・1点、全国平均257・6点)である。

◎議案第37号 平成25年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

**問** 東部診療所の原子力防護対策について、有事の際サーベランスは別の所で行う事が基本であるが、緊急時は診療所

で実施する事も出てくると思う。放射線感知器を備品として追加したらどうか。

**答** 今回の工事については、医療関係の備品、事務関係のものは対象にならないが、検討し国、県に一度提案したいと思う。診療所は相当老朽化が進んでおりこの事業での改修は非常にメリットがあり、この事業で自家発電機を持てる事も大きなメリットのひとつでもある。

◎議案第38号 平成25年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

**問** 美浜町は個人の保険料が高いと言われるが、県内他の市町と比べてどうか。

**答** 保険料の比較は、内容が細かく分かれており、一概に比較は難しいが、一人当たりの国民健康保険税の額を比較する表がある。25年度の比較では、県下で一番があらわ市、2番目が美浜町である。3番目福井市、4番目坂井市。町の状況では若狭町が2番目。美浜町は一人当たりの医療費が高いので、保険料も高くなるという事になる。

◎議案第39号 平成25年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◎議案第40号 平成25年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◎議案第41号 平成25年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◎議案第42号 平成25年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◎議案第43号 平成25年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

◎議案第44号 平成25年度美浜町上水道会計歳入歳出決算の認定について

◎議案第45号 平成26年度美浜町一般会計補正予算(第2号)

◎議案第46号 平成26年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第47号 平成26年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

**問** マイナンバーシステム整備事業について、現在ある住基カードとの関係はどうなるのか。

**答** 国、県、市町等が持っている個人情報一元化する目的で実施される。年金やハローワークの事務、社会保障分野、税金関係の分野での活用を行うということになり、今までの住基カードとは別のものになる。平成28年の1月から順次希望者に写真付きの個人カードの交付になるが、平成27年には個人番号の通知予定となっている。

**問** 町道日向線改良工事について、今回の事業で日向東地区からレインボーラインまでの整備は整うのか。

**答** 今回の業務については、測量調査実施設計と用地測量で、次は発注出来る段階である。この道路については幅員2.7mが6.5mになり、地形の形状をあまり変えずに施工出来るように協議している。延長は375m、日向集落側は一部、今回は行っていない所はあるが、残り6.5mを確保する。

◎議案第48号 平成26年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第49号 平成26年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第50号 平成26年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第51号 平成26年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第52号 平成26年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第1号)

**総務文教  
常任委員会**  
付託案件1件  
意見書審査1件

◎美浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**問** 場所は教育施設でないためなのか。  
**答** 厚生労働省は民間参入も出来るようにしたので空き家を利用できる。  
**問** 育成事業の内容は。  
**答** 放課後児童クラブの状況は、宿題に取り組みその後運動や遊具で遊べる。児童が増えた場合、指導員は確保できるのか。

**問** 指導員は退職した保育士や学校の支援員に協力をお願いしている。  
**答** 支援する条件審査は厳密に行われているのか。  
**問** 審査は就業証明書や関係書類に基づき判断している。  
**答** 民間の運営は難しいが、民間参入の自治体はあるのか。

**問** 嶺南地域には民間は無い。  
**答** 児童数が増えた場合、今ある施設で対応できるのか。

◎美浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**問** 以上の審査を終了し、採決の結果全員賛成をもって承認しました。  
**答** 意見書提出要請案件

**問** 体育センターで約40人、美浜東小学校で約20人となる。各施設40人ぐらいの目安で運営しているの、対応できる。  
**答** 厚生労働省の基準のような美浜町独自基準はあるのか。  
**問** 美浜町としての独自基準は無い。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書  
陳情項目すべて賛同できないが地方財政の充実強化を求めるのは必用であるという意見があり、協議し採決した結果全員賛成をもって提出することになった。

**産業厚生  
常任委員会**  
付託案件3件  
意見書審査2件

(1)美浜町福祉支援センターあいはらの設置及び管理に関する条例の制定について  
来年4月に旧図書館跡にできる、発達支援または生活支援が必要な児童の施設のための条例です。  
**問** 町がある程度の財源を投入しなければならぬ施設だが、運営については、どう考えるか。  
**答** 運営については、お金の面だけでなく良い提案の中から事業者を選定したい。行政もサポートしたい。

(2)美浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
児童福祉法が改正されたため、全国一律で条例を改正する条例です。

子どもに対して保育士は何人という基準は決まっているのか。  
**答** 1歳児は3人に1人の保育士、2歳児は6人に1人、3歳児は20人に1人、4歳児以上は30人に1人というのが国の基準で、当町においてもこの基準を進めている。  
**問** 美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について  
子ども・子育て支援法が新しくでき施行されるので、条例が必要になったもので、全国一律で制定されるものです。  
**問** 今後、法律は幼稚園と保育園がひとつになっていくと思うが、庁内体制はどうなるのか。  
**答** 保育園と言う形になるのか認定子ども園という形になるのか、子育て会議の中で議論し研究していきたい。福祉と教育が連携をとりながらやって行きたい。

意見書提出要請案件  
(1)軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情  
内容については問題視されるものではないが、その実態がつかめないもので、もう少し検討したほうがよいとの意見があり、継続審査とすることになりました。  
(2)手話言語法制定を求める意見書  
手話を学ぶ、使うことを推進することは大変いいことであるとの意見がありました。しかし、法制化することについては、様々な問題があるのではないかという意見があり、継続審査とすることになりました。

# 質 問

9月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いました。

## 5期目に立候補し、成果を問いたい

**問** 山口町政、4期16年の総括と、次期町長選挙での進退は。

**町長** これまでの総括として基本的に3点を重視してきた。まず住民の声をハートフル対話、治太やんボックス、メールで聞いて行政に反映した。次に、行政改革を念頭に、税金の収納率アップ、地方債の実質減を計ってきた。更に、原子力発電所との共生を図り、住民の理解を深めてきた。結果として、高速道路をはじめとしてバイパス等の交通網の整備、そしてゴミ、行政放送、消防、病院等の広域的な施策整備、生涯学習、健康づくり等の設備の充実が計れたと考えている。

5期目については、後援会、顧問の方々と相談、体調等に熟慮を重ね、出馬を決意した。町民の支持を受けられるなら、これまでの政策の更なる充実と、今後想定される人口問題、企業誘致、住宅地整備、防災等、山積する諸課題の解決のために力を尽くしたいと考えて

## 美浜に適合した農業基本計画を作成する

**問** 国の農業に対する減反補償の打ち切りや、農地中間管理機構を活用した耕作者単位の規模拡大等の政策は中山間地の多い美浜町の実情に合致していない。県や美浜町はどのような対応を考えているのか。

**町長** 政策の根幹は国、県の施策に従って行おうが、美浜町でどれだけ大規模化が可能か、中山間地に対し、どのような対応が必要か独自の考えを策定しているのか。

政策の根幹は国、県の施策に従って行おうが、美浜町でどれだけ大規模化が可能か、中山間地に対し、どのような対応が必要か独自の考えを策定しているのか。



浜野 健治 議員

たいと考えている。

**問** 町は「人・農地プラン」について、集落座談会を始めているが、説明の中にある将来の農地集積目標80%は可能としても、残る20%は中山間地に該当する。この部分をどうするかを並行して考えなければならぬと考えるが。

**町長** 中山間地に付いては流動的に考えている。利益追求型にこだわらず、国土保全、環境保護、防災等を含んだ別個の考えが必要と考えている。

**水課** 平成30年度で直接支払い制度はなくなる。美浜町に合致した利益追求型と、農地保全型の農業基本計画を策定委員会策定していく予定である。

**水課** 平成30年度で直接支払い制度はなくなる。美浜町に合致した利益追求型と、農地保全型の農業基本計画を策定委員会策定していく予定である。

## 有害獣恒久柵の管理方法指導を

**問** 有害獣恒久柵の効果は大局的に見ると出ていて、柵内への侵入経路が見えるところまでできている。最後の詰めとして侵入経路の保全方法について、推進リーダーを集めて指導してほしい。

**水課** 集落別捕獲数は把握している。推進リーダー会を検討する。

集落別捕獲数は把握している。推進リーダー会を検討する。

## 人口減少問題をどのように捉えるか 30年後の対策も必要だが、目先の対策がもっと大切



竹仲 良廣 議員

**問** 日本創成会議の人口減少問題をテーマにした内容が発表され、美浜町は消滅可能性が高い自治体に位置付けられた。この内容を町長はどのように受けとめているのか。(2040年には、人口6699人と予想。20歳から39歳までの女性の比率の推移は2040年には925人から、377人に減少すると予想。)

**町長** これまで若者定住化、少子化対策等について施策を実施してきたが人口減少問題は継続して考えなければならぬ日本の課題であり、美浜町の課題でもある。したがって、職員及び町民等で構成する人口減少対策プロジェクトチームを10月に設置し検討する。

**問** これまでも多くの対策を行っているが、人口減少の歯止めができていない。全国的な傾向ではあるので仕方ないことと見え、今後はこれを容認しての対策になるのか。あくまでも人口減少に歯止めをかける対策を行うと考えているのか。

**町長** 人口減少を止める対策は、非常に重要で、この対策は地域の大きな活性化の柱になると考えており、第5次総

合振興計画の一つの大きな課題として取り組んでいく必要がある。

**問** 人口減少は町自体の運営に大きくかわってくる。毎回10年計画を立てて行政運営を行っているが、それに加えて30年、40年後の姿を見据えながらの計画も必要になってくると考えるが。

**町長** 30年後、40年後の話になると、半分夢を語るようなものだ。将来の変化を予測しての計画は難しい。当面5年、10年の間隔で、確実な実現に向けて、一生懸命にできる対策をとっていく必要があると思う。

## タブレット端末機の導入について 現段階では時期尚早

**問** 議会、委員会資料等で使用される用紙の枚数、製本、例規集の追録費他それに係る人件費はどの程度かかっているのか。

**総務課** 例規集の追録代は年間約160万円。平成25年度、役場内で購入したコピー用紙については約240万枚、金額で約184万円である。人件費は明確に示せない。

**問** いろんな場所においてICTを活用することが多くなった。議会、行政においてもこのICTを有効に活用する必要が出てきており、各市町において特に議会などでタブレット端末機の導入が増えつつある。美浜町も導入を考えてはどうか。

**総務課** 初期投資、維持管理、更新経費、それから活用方法と操作方法、幅広く効率的、経済的に検討して、経済的に有用であれば導入も必要と思うが、現在のところ時期尚早と考える。

初期投資、維持管理、更新経費、それから活用方法と操作方法、幅広く効率的、経済的に検討して、経済的に有用であれば導入も必要と思うが、現在のところ時期尚早と考える。

初期投資、維持管理、更新経費、それから活用方法と操作方法、幅広く効率的、経済的に検討して、経済的に有用であれば導入も必要と思うが、現在のところ時期尚早と考える。

質問、返答については質問者の  
文責で掲載しております。

## 防災について

**問** 広島市で土砂災害が発生し改めて土砂災害の怖さを思い知らされた。美浜町は平野の少ない地域なので、崩落危険区域の対策等についてどのように行っているのか。

**土木建築課長** 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は、町内で354箇所が指定された。急傾斜地崩壊対策工事は、現在日向地区で5箇所、久々子区で1箇所行っている。豪雨のときは、崩壊及び崩壊の予兆、異常出水等があった箇所を重点的にパトロールしている。今月より県と協力し、土石流等災害のおそれのある箇所の巡視点検を実施する。

**問** 土砂災害は豪雨になればいつ起こっても不思議ではない、町民にとっても身近な災害だと思ふ。危険箇所がどこにあるのか、大雨が降ればどこがどのように崩れる恐れがあるのかといったことを、地区の方に現地確認してもらい周知徹底する必要があるのでは。特に土砂災害に対する訓練を重視する必要があるのでは。

**土木建築課長** 9月11日に関係区長会議を開催する。29集落の区長に来ていただき認識を図っていききたい。避難体制の整備、避難勧告、避難指示、避難所の開設等については時期を逸することなく実施していくことを確認している。



野瀬 雅己 議員

**問** 町は町民の生命と財産を守るといことが最大の責務だ。行政のできることは限られている。訓練は何回も繰り返すことによって、知識が深まり初動態勢ができる。住民が自分で考えて逃げることができるような訓練に重点を置き訓練していただきたい。

**町長** 土砂災害に対して危険だということを知り、周知徹底していく必要がある。大雨が降ったら早目に避難情報を出し、訓練も非常に重要と考えている。

## 舞鶴若狭自動車道開通に伴う 観光振興について

**問** 舞鶴若狭自動車道が開通して、美浜町の観光施設等への効果は。

**町長** 舞若道の開通は、非常に期待が大きいです。残念ながら8月は非常に天候不順だった。海水浴地を中心に大きな痛手を受けたかと思っているが、反面屋内施設については、比較的順調で、落ち込みがそれほど大きくなかった。

**問** 舞若道開通に向けて、嶺南広域行政組合においても、各市町に対して一定額を補助するという事業があるが、どのような取り組みをしているか。

**町長** 嶺南広域行政組合では、舞若道の開通を見越して資金を補助した。それを使って集客、観光の振興を伸ばしていきたいと計画している。

**問** 美浜の美しい魚とかへしこ、観光スポットをまだまだ知らない人がいるのではないか。高速道路から目立つ大きな看板を設置して、美浜をアピールしては。町内の名所・旧跡を案内する標識、モニUMENT等、美浜町を象徴するものを考えていきたい。

## 国民健康保険税の滞納、 徴収について

**問** 国民健康保険加入者全員が65歳以上、75歳未満の世帯で、原則として世帯主の方が受給されている公的年金から強制的に天引きされる。年金から強制徴収されながら、滞納を理由に保険者証の交付を受けていない住民はどの程度いるのか。

**税務課長** 滞納を理由に被保険者証の交付を受けていない方は現在いない。ただし、65歳に達して年金からの天引きが始まった方で、前年度を含む複数年に滞納がある場合は、保険証交付要綱事務要領の基準により、被保険者証は交付できない。

**問** 医療機関にかかったとき、窓口で支払うお金の負担が重いために、治療を我慢する人たちが後を絶たない。お金のあなしによって、命と健康が左右される事態を放置することは許されない。子供の医療費の窓口負担の無料化と、対象者の拡大が急務であると考えるが、行政には子供たちの受診抑制をめぐり問題で、どのような実態が上がっているのか伺う。

**福祉課長** 美浜町では県内に先駆けて平成21年の4月から中学校卒業までを対応しているのか伺う。



河本 猛 議員

象として完全無料化を実施している。当町では受診が抑制されているということは耳に挟まない状況であり、そういう実態はないと捉えている。

**問** 国は、窓口無料化が進めば安易な受診が広がるとして、窓口負担を無料化している自治体に対して本来支払われる国の助成金を、わざわざ減額するというペナルティー・罰則を科している。美浜町はこの問題に対してどのような姿勢で臨んでいるのか伺う。

**福祉課長** 窓口無料化については、国のペナルティー問題が大きく、現在県内で導入している市町村はない。仮に窓口無料化を導入するとすると、県内の全医療機関の協力が必要であり、混乱を避けるために県下一斉の展開が望ましい。今後も調査と研究をしながら、この問題に対応していきたい。

## 美浜原発について

**問** 美浜原発は老朽化の問題に加え、出力も低く、稼働しなければならぬ合理的な理由など何一つない。県とともに国の責任において廃炉を進める体制を整備するほうが、より現実的な町の施策であると考えるが、町長の所見を伺う。

**町長** 本年6月、国への要請活動の中で、廃炉への対応が必要となった立地自治体に対して、国の対応方針を早急に示すよう要望してきた。原子力はもう必要ないという極論に対して、私は原子力が必要であるという立場である。

# 質 問

9月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いました。

## 災害復旧工事の進捗状況と 今後の災害対策について

**問** 昨年の災害復旧工事の進捗状況は。

**町長** 被害が大きく、国の査定制度の手続を待っているのは今年の作付けに遅くなるかと判断、農水省と交渉、県と相談し写真・証拠書類整備だけでは許可を得、復旧作業に着手し間に合った。

**土木建築課長** 台風18号では、330箇所被災した。8月現在、町関係での事業は林道・治山・道路・河川で57件100%、農地・農業用施設の78件中竣工済み64件82%である。復旧工事全体では工事発注件数は135件、竣工済みは121件90%、県関係の治山事業復旧は4件で現在全て施工中、砂防・道路・河川事業は30件で竣工済みは17件、11月末までに90%竣工予定。

**問** 復旧の対応手続は、今回は特別早く出来たという事だが、是が最短か。

**土木建築課長** 災害復旧事業は、基本的に国の補助事業で実施。災害査定を受けていると3ヶ月程度要する。浸漬等の緊急を要する場合、事前協議を行えば、今回の様な応急工事が可能。土砂の流入等は、もっとと臨機応変に出来ないのか。

**土木建築課長** 災害発生への対応については、美方建設業組合と災害協定を締結、迅速な対応を取ってきた。同組合以外の業者とも協定締結を行ない対応してきた。排水路の土砂取りなどで、地元の対応が可能ならば重機を貸し出し、協力を得て対応して行きたい。

**問** 町内の河川・用水路を総点検すると共に、改善を検討する必要はないか。改修したが、実情に合っていないのではとの指摘もあり、地元関係者にも確認する必要はないか。消活動への利用も考慮する必要もあると考えるがいかがか。



兵庫 賢一 議員

**町長** 耳川右岸は、県・国・地元関係者と協議検討を重ね、排水機能の改善対策を検討中。左岸は荒井用水路改修事業を実施中。防災安全対策等の整備は、パイプラインを活用しながら検討。

**土木建築課長** 耳川の浸漬工事の計画と進捗状況は。12月以降に河口の土砂浸漬工事を実施、上流の計画は無いが、災害の恐れのある箇所をポイント的に実施したい旨、県に要望して行きたい。

## 超高齢化社会に向けた 安全な道路整備を

**問** 現在ある集落の道路、集落間の道路を少し検討し工夫整備するだけでも安全で便利な通学・生活道路が実現出来るのではないか。

**町長** 基本的に同感だ。年間5〜6億円の公共事業を実施しており、全体のバランスを考えながら予算付けをしている。要望に基づき、交通弱者を優先に対策工事を実施している。行政と住民との協働による安全対策を講じて行きたい。

**問** 集落の街路灯の老朽化が進み、照明に対する要望も増えてきている。各集落からLED化への要望が増えてきているが、町内の街路灯を一気にLED化することは出来ないか。

**住民環境課長** 新規に要望を受け設置したものはLEDを設置。今後については、他町の対応や補償制度があるかを調査検討しており、町費ではな

## 町道及び県道における通学時の 交通安全対策について

**問** 町内の危険個所の把握ができていない件数はどの程度あるのか。

**学校教育課長** 平成24年度に通学路の緊急合同点検を町と県土木と敦賀警察署で実施した。町内各小中学校の町道、県道を合わせて12箇所の改善箇所があると確認。

**問** 危険個所の状況については、どの程度確認され問題点の検証はされているのか。今後、どのように取り組まれるか。

**学校教育課長** 12箇所の内、山上新から佐田区までの通学路には、25年度において道路路肩部分に緑色カラー舗装を施工。また、あおなみ保育園前の交差点には、新たに信号機を設置した。大数の国道沿いの元ひさこ付近から大数区内におりる道は小学生から高校生の通学路として通行量が増え、現在一時停止の看板設置を要望している。

**問** 県道の歩道に対して学校関係や地元保護者関係からの要望を行政として、県にどの様な働きかけをしているのか。

**土木建築課長** 県道の要望には、毎年開催している美浜町・敦賀土木事務所連絡調整会議、嶺南振興局との行政懇談会、知事へ直接要望書を提出、さまざまな機会を設けて定期的に要望活動を行っている。

## 一次産業の六次産業化に 対する取り組みについて

**問** 農林漁業者等の認定の要件・手続と福井県内や美浜町内の件数は。

**農林水産課長** 国では平成22年度から6次産業化に取り組み場合に支援できる。認定業者は福井県内では19地区、美浜町ではそのうちの1地区ある。

**問** 取り組もうとする農家、事業者への支援策や初期投資に対する補助金等、町単独の補助制度などはないのか。



川畑 忠之 議員

**農林水産課長** 県の補助制度では年間の売上高が300万円以上ないと認定できない。町単独の補助制度は、現行の県補助事業に対する町の補助率の見直しで支援を図りたい。

## 「道の駅」や「生産直売所」の 建設について

**問** 農産物直売所、情報発信機能、地域連携機能等を有した「道の駅」は今後どのように計画しているのか。

**町長** 国交省は、防災、文化の発信、地方情報の発信、あるいは医療も考えていこうという今後の方針も聞いているので、地元にとって物販のみならず、大きな影響を与えられる施設が考えられるわけである。まだ発表できる段階ではないが、「道の駅」をぜひ設けていきたいという思いで改めて検討している。できるだけ早く、ある程度具体化すれば、今後鋭意取り組んでいくので、議会と相談していきたいと思っている。

**問** 今後、舞鶴若狭自動車道の利用客を誘致するため、町内に「道の駅」等を設け、6次産業化の推進と合わせて、野菜や生産品の中に、直売所でのみ販売する特産品を創出し、観光客の増加につなげることができないか。

**農林水産課長** 道の駅または生産直売所のあるなしに限らず、農産物の販路拡大や生産加工の供給体制の強化、拡大が必要である。今後とも県、JAと共に6次産業化の推進をして、特産品の開発、また魅力ある農産物の生産加工に対して意欲的に取り組む方を支援していきたい。



質問、返答については質問者の文責で掲載しております。

## 人口急減社会における美浜町の将来像とは

**問** 美浜町の経済的自立と雇用について、将来をどのように考えているか。

**町長** 3・11が契機となり、工業団地、住宅団地の誘致を県に御協力いただきたいながら進めている。今後も努力をしていく必要があると考えている。

**問** 広域的な連携も含めて自治体経営について、将来の自治体運営をどのように考えているか。

**町長** 広域行政は非常に重要であると思っ  
ている。今まで単独で行ってきた事務の連携や、一部事務組合の拡大は重要、そのような方向に向けて努力している。昨年度から嶺南地域広域行政研究会を6市町で設置し、県も入った上で今後は嶺南一体でやっていく必要があるという話もしている。

**問** 美浜町の人口構成の中で高齢化が進み、若い世代が減っていく中で、まちづくりをどのように進めていくと考えているか。

**町長** 町と町民が協働で、美浜に生まれて住んでよかったというような温かみのあるまちづくり、協働のまちづくりを進めていきたいと考えている。

**問** 人づくりとして将来に対する責任をどのように考えているか。

**町長** 町民がこぞってまちづくりに参加していただいで、豊かで子々孫々々々々で、将来も安全で住みやすい町にしたい。美浜町に育った人で有能な人は世界に羽ばたいていけるような、あるいはお金がなくても支援できるような体制に持っていかねばと思っている。

**問** 美浜町の将来の自治とはどうあるべきと考えるか。

**町長** 将来は権限をできるだけ移譲し、1つの町でやらずに手をつなぎながら多くの町と運営していくことが必要になると思っている。産業振興、雇用対策も欠くことができないと思っている。そのためには限られた財源、人材で町民が納得して協力できる自治を一体として、協働のまちづくりを進めていきたいと考えている。

**意見** 人口減少による美浜町の消滅可能性、原発の今後や雇用の問題など、様々な課題が山積みしています。美浜町の置かれた現状は、地方のさらにそれを上回るほどの厳しさがあります。未来に生きる若者であるにも関わらず、親の世代から見れば「子供だから」「経験不足だから」と悲観的に言われてきたように思います。しかし、それに甘んじているようでは、前に進むこともできず、変わることもできません。若者自身も、その親の世代も、若者自身を評価し直して頂きたいと思っています。若者が生き生きと物を考え、実行し、若者の親の世代がそれを冷静に判断していくというつながりが必要だと私は考えています。そうならなければ、現状の美浜町に対し思考が停止し、判断を下さず、後退していくことが予想されます。美浜町の衰退です。私たち若者世代が社会人になった頃は不況の時代です。「若い世代は消費しない」「夢を持たない」と新聞、テレビ等で語られていますが、若者は現実を直視しています。



松坂 隆司 議員

## 各種委員会 報告

### 【議会と語るう会 1班】

#### 郷土愛を感じる

**【新庄区】**  
区長をはじめ19名に集まっていたいただきました。地元の田代トンネルや砂防堰の土砂撤去等の土木関連、女性からは、高齢者対策や空き家の利活用についての意見がありました。また、来年度の小学校再編には、地域を思う強い郷土愛を感じました。農業関連では6次産業化への取組みの意欲がうかがえ、議会も一緒にやって取り組んでいきたいと考えています。

**【気山区】**  
区の代表と若手代表10名の参加があり、美浜里帰り同窓会支援の身近な質問から意見交換に入りました。美浜町は他の市町から比べると少し元気がない等厳しい意見や農道、有害獣柵、コミュニティバスの停留所等についても意見が出されました。また、集落では街灯のLED化構想等先進的な意見があり有意義な意見交換をすることが出来ました。(辻井記)

### 【議会と語るう会 2班】

#### 美浜の将来を語る

**【佐野区(佐野生活改善センター)参加者14名】**  
ハコ物の建設は、今後の維持費等



議会と語るう会の様子 (新庄)

を心配する意見が多く、ハコ物より働く場所を作ってほしいという声がありました。  
また、耳川の底が上がっており、浚渫の要望があり、議会も強く働きかけて行きたいと思えます。  
身近な問題ではなく、缶の収集についてネットではなく、従来どおりの収集に戻してほしいとの意見があり行政側に伝えました。  
全体として、人口減少による将来を非常に心配され、農業の担い手の問題など、将来の美浜町をどうしたいのか真剣に考えてほしいという意見があり、議会としては第5次振興計画に反映して行きたいと考えています。

【太田区(太田生活改善センター)参加者9名】  
太田区は、舞鶴若狭自動車道の玄関口であり、区の活性化になるような方策を聞かれました。議会としても住民の方々と共に地域の宝を有効に活用し進めたいと考えています。上水道の敷設については、東部簡易水道につないでいく予定との行政側の回答を伝えました。山上産業団地の誘致について試算はあるのかという問があり、議会としても一体となって誘致に対応していきたいと考えています。(野瀬記)

【議会と語るついで3班】

意見交換で議会に期待感

【上野区】  
区長をはじめ8名の区民の方に集まっていたいただきました。議会からの報告説明の後、ご意見をお聞きし、対話しました。美浜町の将来を心配し、人口問題、企業誘致や住宅地の建設の課題、原子力発電所との共生の課題等について話し合いました。地元の課題として防災上の課題、消防団、小学校通学、空き家、有害獣の補償の課題等たくさんのご意見をいただきました。

【金山区】  
区長をはじめ9名の区民の方に集まっていたいただきました。大きなご意見として、町の財政上の課題や企業誘致の成果、更には原子力関連施設の状況等の意見交換をしました。地元の課題として区長の役割、防災上の消防団の話、出水対応策等についての質問があり、有意義な意見交換が出来ました。(浜野記)

その他  
活動報告

【原子力発電所委員会視察研修】

再稼働に向けて

8月21日、22日の両日東海第2発電所と東芝未来科学館を視察しました。

東海第2発電所は35年を経過した高経年化炉ではあるが、規制庁へ再稼働に向けた安全審査の申請を提出しています。多くの発電所が実施している対策(例えば非常用発電機の設置、地震・津波対策、溢水対策、免震棟など)はすでに実施されており、さらに高経年化炉における大きなハードルである難燃性ケーブル対策においても、防火塗料に対応するため実際にケーブルが重なり合った複雑な場所のモックアップを製作し練り返し試験を実施しています。また、現在ある免震棟は放射線防護の不備の観点から新たにもう一棟建設するなど、高経年化炉にも関わらず積極的に再稼働に向け邁進していることに本気度を感じました。また、稼働40年経過後の運転継続ができるように特別点検への対応も進めたいと考えているようでした。

その後、東海村議員との意見交換会では、お



原特視察の様子

互いの原子力の情勢と課題について話し合いが行われました。原子力発電所立地自治体としての共通点や相違点など考えさせられる点が多くありました。

例えば、避難計画について東海発電所はすぐそばに、国道が走っており、市街地が隣接していることから、どこかへ逃げるのではなく、東海村にいることのできる対策を模索しているとのことでした。シエルトであるとか、遮蔽施設を設けるなど美浜町との違いを感じました。

高経年化炉を抱える同じ立地自治体として、美浜発電所においても再稼働は可能と考えることから、今後の動向を注視しながら、議会として積極的に行動すべきと感じました。

翌日の東芝未来科学館は非常に好評で、我々も入場を制限されるほどの賑わいでした。入館してその人気が理解できる内容で、多くの体験型コーナーがあり、随所にもう一度来たいという仕組み作りがされていました。美浜町のエネルギー体験施設においても他にないような設備が望まれます。今後、来客対象者の希望をしっかりとらサーチをして、内容の構築にあたっていただきたいと思います。(竹仲記)

【敦賀・美方消防組合議会】

消防活動の多角化に  
対応する為の先進地視察

平成26年度の敦賀・美方消防組合議会の研修は、8月25・26日の両日、消防活動の多角化に備え、大阪消防局及び、大阪駅グランフロント防災本部を視察研修しました。大阪消防局では指令情報セン

ターを見学し、敦賀・美方消防組合の防災センターとの対比を学び、更に特別高度救助隊の資機材及び取り扱いの実態を説明していただき、一部体験して重要さを確認しました。大阪駅グランフロント大阪南館防災本部では、巨大ビル、巨大商業施設がかかえる防災上の課題とその対策設備を見学して、華やかな施設の裏方の苦勞を研修しました。(浜野記)

【総務文教常任委員会視察研修】

小学校再編に伴う学校跡地を視察

美浜町では少子化に伴い児童数が減少しており、来年4月から小学校が7校から3校に再編されます。しかし、再編後の学校跡地の活用方法は未定であることから、7月29日～30日の2日間、廃校となった跡地の利活用をしている次の4箇所を視察研修しました。

- ①「滋賀県伊吹山文化資料館」  
春照小学校春照分校を改修し平成10年3月に伊吹山の麓にオープンしました。「伊吹山とその山麓の自然と文化」をテーマ設定し、発掘調査考古資料と人々の生活生産用具を展示しています。公民館講座受講生を主体に、民具の資料の仕分け作業、清掃、改修作業の展示づくりを実施し一般公開しています。
- ②「京都国際マンガミュージアム」  
廃校になった龍池小学校の校舎を改築し、日本初の総合的な漫画ミュージアムとして、平成15年3月にオープンしました。京都市と大学で組織運営され4万冊が並ぶ「まんが本の壁」があります。
- ③「神戸北野工房」  
旧北野小学校校舎を改修し、神戸ブラ

ンドに出会う体験型工房として平成10年にオープンしました。トアロードに建つレトロでモダンな校舎に22の個性ある工房が楽しめます。

#### ④「篠山チルドレンズミュージアム」

里山に囲まれた木造校舎を活かした子供向け体験施設として、平成13年にオープンしました。旧多紀中学校の校舎の情景や篠山の自然や文化の特性を生かしています。視察を終えて、どの施設も地域住民の展望と協力による深い関係がうかがえます。校舎としての歴史や卒業生の思い出を残し、機能と校舎の歴史を、融合させることで、地域の深い結びつきにつながっています。ボランティア活動や団体の結成など施設に対する協力関係が強く生じることを改めて認識しました。(川畑記)

#### 【舞鶴若狭自動車道

#### (小浜〜敦賀JCT)開通式】

### 全線開通

開通式典実行委員会(福井県・敦賀市・美浜町・若狭町・国土交通省近畿地方整備局・中日本高速道路(株)主催のもと、美浜町総合体育館で開通式が行われました。式典の参加者は約470名で高速道路の開通がいかに期待されているのがわかります。式典終了後、三方五湖PAから若狭美浜ICまでの



舞若道開通式典の様子

通りぞめを行いました。

舞鶴若狭自動車道は吹田市を起点に吉川JCTから分岐し福知山市、舞鶴市、小浜市を経て、敦賀市の北陸自動車道に至る高速自動車道です。中国自動車道、名神自動車道と一体となり、関西・中京・北陸圏の広域ネットワークを形成し国道27号の交通混雑の緩和、災害時における代替ルートとして大きな役割を果たしてくれると思います。(崎元記)

#### 【議会広報研修会】

### 議会だよりも活性化！

平成26年7月4日(金)、福井県自治会館において、福井県町村議長会主催の「議会広報研修会」が行われました。講師は株式会社メディアブレイン代表の吉村潔氏。雑誌・書籍等の編集者であり、主に企業広報、大学広報、会員誌などの企画・制作をされており、議会広報誌関係では全国町村会議長会、県議会、市議会、町村議会等の議会広報研修会の講師を勤められております。

クリニックでは特に議会広報誌のどこをどう変えていくか。デザイン・レイアウトをどのようにすれば良いのかという点を基本として、読者に対して伝える方法とはどのようなものかという事を学びました。その他、各議会から出された議会広報誌に対して、適切なアドバイスを頂きました。今後、検討を重ねながら新たな挑戦を繰り返す、読者目線でわかりやすい議会広報誌を発行していきたいと考えております。(松坂記)

#### 【福井県町議会委員長・副委員長研修会】

### 充実した委員会を目指す

平成26年8月8日(金)、福井県町議会委員長・副委員長研修会が福井県自治会館で実施されました。地方分権時代の議会に求められる役割について研修を行いました。委員長副委員長の更なる資質向上を図ることを目的に、講師小林猛氏(全国町村議会議長会議事調査部参与)が講演しました。第31次地方制度調査会について概要を説明。次に、地方自治法について、連携協約制度が創設され、他の普通地方公共団体と「連携協約」を締結することが可能になったことなど、改正された一部を学びました。また、条例や事例研究の要点も説明されました。(河本記)

#### 【福井県町議会議員研修会】

### さらなる議員資質向上を目指す

平成26年8月29日(金)、福井県自治会館において平成26年度町議会議員研修会が実施されました。議会改革の動きと地方分権時代の議員に求められる役割について研修を行い、もって議会民主主義の充実発展に資することを目的に、講師吉田利宏氏(元衆議院法制局参事)が講演しました。

「条例立案のポイントと政策立案機能の強化へ向けて」と題した講演は、町村議会の良さを確かめようと、議会改革は町村から始まったことや町村の強みは議会と住民の距離の近さであること、すぐれた議員提出条例が成立していることなどを再認識しました。

更に条例解説や立案のポイントを学びました。(河本記)

#### 【現地視察】

### 見上げるばかりの巨大鉄塔

今回は、送電線(美浜線)の改修工事と嶺南変電所の改良工事の視察を行いました。最初に敦賀半島から新庄山越えの送電線と鉄塔の遠望を確認しました。

鉄塔は従来のもより約1.5倍の大きさで、高いものでは110mもあります。送電線(圧)も現行の倍近くの50万ボルトに張替えられ、外部電源からの流入強化も可能となっております。

新鉄塔は既設の近くに立ち、何れも山の尾根にあるため、機材の搬入はヘリコプターで行われており、あわせてヘリポートも見学しました。

ヘリコプターによる資材運搬費は多額の費用がかかり、また鉄塔基礎工事の穴の大きさも、想像以上でした。変電所も送電線改修に伴う改良工事が進められており平成29年中に竣工予定となっております。(辻井記)



現地視察の様子

# 議会の動き

7月3日	関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会理事会
4日	町議会広報研修会
14日	第4回町議会臨時議会
15日	議会と語ろう会(上野区)
16日	議会と語ろう会(新庄区)
16日	議会と語ろう会(佐野区)
17日	議会と語ろう会(気山区)
17日	議会と語ろう会(太田区)
17日	議会と語ろう会(金山区)
28日	平成26年度嶺南市町議長会定例会
29日	総務文教常任委員会視察(30日)
8月5日	全原協視察(6日まで)
8日	福井県町村議会臨時総会 委員長・副委員長研修
11日	第5回町議会臨時議会
19日	県原協平成26年度総会
21日	原子力特別委員会視察研修
25日	敦賀美方消防組合視察研修(26日まで)
28日	公立小浜病院組合議会
29日	町議会議員研修会
9月2日	第6回美浜町議会定例会 本会議・全員協議会
3日	第6回美浜町議会定例会 本会議(一般質問)
4日	第6回美浜町議会定例会 本会議(一般質問)
5日	予算決算常任委員会
8日	予算決算常任委員会
9日	総務文教常任委員会
10日	産業厚生常任委員会
12日	現地視察
16日	全員協議会
18日	第6回美浜町議会定例会 本会議・全員協議会
29日	議長・副議長研修会

## 津幡町民レガッタ4連覇!

平成26年8月24日に石川県津幡町で開催された「第27回つばたレガッタ」において、議会議員の部で4連覇しました。大会では津幡町近隣市町の議会と県議会チームも参加し、レースだけでなくその後の交流も深め、有意義な大会であったと思います。本年度から町民レガッタにおいて議会議員の部を新設します。他市町の議員の方々との交流も深めながら、お互いの議員活動を活性化するために切磋琢磨していかれたらと思います。(松坂記)

## 全国市町村交流レガッタ、 念願の初優勝!

平成26年9月20・21日に秋田県大潟村で「第23回全国市町村交流レガッタ・大潟大会」が開催され、議会からも2チームが参加しました。議会議員の部では念願の初優勝を果たし、総合成績においても美浜町は最高顧問杯・会長杯を勝ち取りました。ボートの町美浜町がトップチームレベルだけでなく、住民レベルにおいても「ボート最強の町美浜」を全国に発信してまいりました。また、議会議員シニアの部においては、惜しくも決勝には上がりませんが、堂々のレースで存在感をアピールしてきました。(松坂記)

## 編集後記

勝山恐竜博のビッグエッグから生まれた恐竜が美浜町にやってきました。若狭路恐展の開幕です。今から2億5000万年前に恐竜時代が始まり、1億6500万年も続きました。この機会に皆さまも是非ジエラシック美浜パークにタイムスリップしてみたいかがですか。

7月から「議会と語ろう会」が始まりました。この10月も3班編成で6集落を回ります。将来の美浜町づくりと開かれた議会を目指すため、皆様方の生のご意見をお聞かせ下さい。(辻井記)

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】松坂隆司 【委員】川畑忠之・崎元良栄  
【副委員長】辻井雅之 藤本 悟・松田うめ子  
飯田 豊



全国市町村交流レガッタ大潟大会表彰式の様子